

(所属長 : 臣永 正廣)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	「すべては子どもたちのために」をキャッチフレーズに、人と人とのつながりを大切に、みんなが笑顔で暮らしやすいまちをめざす。
使命	区民の多様な意見やニーズを把握し、地域住民等と連携・協働しながら、地域の実情や特性に即した施策や支援を行う。
令和6年度所属運営の基本的な考え方	若い人や子育て世帯を呼び込み、活力あるまちをつくるため、3本柱(子どもの夢がひろがるまち、人と人がつながりにぎわうまち、みんなが安心して暮らせるまち)の施策を進めていく。

重点的に取り組む経営課題							
経営課題1 子どもの夢がひろがるまち							
		4決算額	88百万円	5予算額	115百万円	6予算額	215百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯が地域で安心して子育てできる環境づくりが必要である。 ・教育環境の充実に向けて、学力や学習姿勢が身につけていない児童生徒の支援とともに、区全体の学力向上に向けた取組みを進める必要がある。 ・生活面の課題がある児童生徒が健全な学校生活を送ることができるよう、支援する必要がある。 						
主な戦略 (課題解決の方策)	(1) 子どもが健やかに成長できるようにする (2) すべての子どもの学習意欲があふれる環境をつくる (3) 親子が安心して暮らすことができるように支える						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度を示した指標)	区民へのアンケートで「安心して子育てができる環境が充実している」と思う割合：令和9年度までに88% (令和5年度62%、令和6年度69%、令和7年度75%、令和8年度82%、令和9年度88%)						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況			A: 達成 B: 未達成		前年度実績	
経営課題2 人と人がつながりにぎわうまち							
		4決算額	91百万円	5予算額	115百万円	6予算額	120百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ・若者や子育て世帯に選択される魅力的な居住環境を整備する必要がある。 ・西成区の魅力を情報発信しイメージアップを図る必要がある。 ・複合的な課題を抱えた要援護者など、これまでの仕組みだけでは解決できない問題が生じており、様々な関係機関が連携し、横断的かつ包括的な支援を行う仕組みが必要である。 ・就労困難な若年層に対する自立支援を行う仕組みが必要である。 						
主な戦略 (課題解決の方策)	(1) 住みたいまち、行ってみたいまちにする (2) 地域の活動を支えてつながりをつくる (3) 誰もが活躍して輝けるまちにする						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度を示した指標)	区民へのアンケートで「あなたが持っている西成区のイメージはどれに近いですか」に肯定的な回答：令和9年度までに70% (令和5年度53%、令和6年度57%、令和7年度61%、令和8年度65%、令和9年度70%)						
	区民へのアンケートで「身近な地域で見守りや助け合いなどのつながりづくりが進んでいる」と思う割合：令和9年度までに89% (令和5年度61%、令和6年度68%、令和7年度74%、令和8年度81%、令和9年度89%)						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況			A: 達成 B: 未達成		前年度実績	

経営課題3 みんなが安心して暮らせるまち						
	4決算額	149百万円	5予算額	177百万円	6予算額	184百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるつながりの希薄化が進んでおり、災害時における要支援者対策の充実を図る必要がある。 ・区民一人ひとりの防災意識の向上を図る必要がある。 ・これまであいりん地域で行ってきた環境改善の取組みの成果を西成区全体に広げていく必要がある。 					
主な戦略 (課題解決の方策)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 大規模災害等に備えた体制をつくる (2) 行政と地域住民が連携して防犯・安全対策をおこなう (3) あいりん地域の環境改善事例を広げていく 					
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度を示した指標)	区民へのアンケートで「西成区は、安全安心なまち」と感じる割合：令和9年度までに66%（令和5年度50%、令和6年度54%、令和7年度58%、令和8年度62%、令和9年度66%）					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況			A：達成 B：未達成		前年度実績
自己評価 (運営方針全体の定性評価)						
今後の方針						